



第35回総会が開催されました

お知らせいただきたいとの要望がなされました。

昨年の夏も暑かったです。今年はさらにそれを上回り、記録的な猛暑になつております。皆様、いかがお過ごしでしょうか。無理をせず、

お身体を第一に考えて、この暑さを乗り切ってください。

公開記念講演会－鳥居伸好教授

会場では、三月に退職された白門経友会顧問の松丸先生から託された白門経友会の創立総会など昔の活動のアルバムがお披露目されました。



その後、暫時の休憩ののち、鳥居伸好経済学部教授に公開講演会を開催しました。近年は学生の参加が多く残念に感じておりましたが、今日は鳥居先生を慕う学生達が参加してくれました。

今年の総会は、例年通り六月の第二土曜日、六月一四日に開催されました。二四年度の活動報告では、新しく設置された資料館の見学会、経済学部百周年記念奨学金への一〇万円の寄付などが報告されました。二五年度活動計画では、引き続き本年度も経済学部百周年記念奨学金に寄付を行うことなどが承認されました。また、今年度に關して今のところ他にイベント等の計画は予定していないが、経済学部創立一二〇周年でもあり、何かよい企画があればぜひ講演では「川の流れに身を任せ」

懇親会

講演会のあと、ヒルトップの四階の四季にて懇親会を催しました。学生たちも交え、鳥居先生を囲んで楽しいひとときを過ごすことができました。



講演会のあと、ヒルトップの四季にて懇親会を催しました。学生たちも交え、鳥居先生を囲んで楽しいひとときを過ごすことができました。

在する矛盾に着目してどう発展し、これからどう発展していくかを説明されました。その際、価値にこだわることが重要であり、価値を社会的力と捉え、価値を生み出すものとして労働を重視しなくてはなりません。

以上のような視点から、社会の発展を説明され、最後に、「自分がこれまで生きてきた中で得たものを次の人にはどう伝えていくか、より良い社会の実現に結びつけていくかを常に考えていかなければと考えている」と結ばれました。

以上の説明が、講演会の内容をより深く理解する手助けとなりました。

第35回定期総会資料

第1号議案 2024年度活動報告

I 会議

1. 2024(令和6)年度定期総会

日時 2024年6月8日(土) 14時

場所 7号館1階7104教室

▶第1号議案 2023年度活動報告及び決算報告

▶第2号議案 2024年度活動計画及び予算案

▶第3号議案 役員選任および役付き幹事の承認

▶第4号議案 その他

以上、原案通り承認されました。

引き続き、松丸和夫教授より「社会政策の経済理論」という演題で講演していただきました。

その後、会場をヒルトップ4階「四季」に移して、懇親会を開催いたしました。

2. 常任幹事会

2024年5月27日(月)～6月4日(火)(持ち回り開催)

2025年3月25日

II 行事

▶資料館見学会

期総会に先だって、新しく開館された資料館(法と正義の資料館、大学史資料館)の見学会を開催しました。ガイドを付けていただき、展示室を見学して回りました。この見学会については、会報87号にて、吉永匡宏さんに報告していただきました。

▶経和会懇親会に参加

2025年3月6日に、経済学部教員の親睦会である「経和会」の懇親会(退職される先生方の送別会)に招待され、常任幹事も参加いたしました。その際、安藤磐さんに本会を代表して挨拶していただきました。

III 会報

▶第87号8月31日／第34回定期総会報告／第34回定期総会資料／二つの資料館見学と三〇年振りの総会に参加して(吉永匡宏)

▶第88号1月10日／巻頭言／学部改革／本年度

新任教員／五七年ぶりの思い出(高梨明宏)／定年退職を前にして思うこと(浅田統一郎教授)

▶第89号3月31日／巻頭言／二〇二四年度末に退職される先生方／学生たちの主な活躍／履修要項から中大の歴史を紐解く(一)(濱岡剛)／担当授業、振り返ってみれば(坂田幸繁教授)

第2号議案 2025年度活動計画

I 会議

1. 2025(令和7)年度定期総会

日時 2025年6月14日(土) 14時

場所 7号館1階7104教室

議題

(1) 2024年度活動報告・決算報告

(2) 2025年度活動計画・予算案

(3) 役員選任および役付き幹事の承認

(4) その他

総会終了後、公開記念講演を実施する。

時間 14時40分～16時10分

演題 「時の流れを読む経済学」について

講師 鳥居伸好教授

懇親会

時間 16時30分～18時30分

会場 ヒルトップ4階「四季」

2. 幹事会

年3回程度、原則対面で開催する。

II 行事

1 学部授業・ゼミへの協力。学外および会員からの講師の推薦を経友会として協力支援する。

2 学部行事への協力。

3 会報などを通じて、「経済学部創立百周年記念奨学金」募金を支援する。

4 経済学部創設百周年記念奨学金基金に本会の余剰金の中から寄付する。

5 白門経友会会員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を深める行事を行う。

6 会員の多摩キャンパスへの関心を高めてもらうために、2024年度に開館した大学資料館、法と正義の資料館について情報提供を行う。

III 会報発行

会報「白門経友会」を年3回発行する。会報はホームページに掲載し、紙ベースでの発行を少なくとも年一回行い会員に配布する。

見直しに着手する。

5 以上の活動を通して入会呼びかけの強化。

IV その他

- 1 学部の活動状況を会報を通して積極的に広報する。
- 2 多数が参加可能な講演等の開催。あるいはオンラインで可能な講演を行う。
- 3 白門経友会ホームページの内容の充実化のために、学生および外部有識者からの投稿を勧める。
- 4 「人格なき社団等」として口座を維持に当たって団体要件の確認が求められることを鑑み、会則の

第3号議案 役員選任および役付き幹事の承認

顧問: 斎藤巖、松丸和夫

会長: 佐藤拓也(中央大学経済学部長)

幹事長: 濱岡剛

副幹事長: 佐藤文博、鳥居鉄太郎

常任幹事: 安藤磐、風間俊範、鈴木秀男、

高梨明宏、田中右一、局芳暁、

吉永匡宏、米田貢(あいうえお順)

監事: 石橋敦史(経済学部事務長)、

森元公和

2024年度 決算報告書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	1,431,014	総会・懇親会費	74,900
会費収入	241,701	会報発行費	118,580
懇親会費収入	55,000	HP維持費	26,400
寄付金収入(学員会)	50,000	交流費	5,720
雑収入	1,740	振込手数料	935
利子	276	通信費	36,260
		寄付(百周年記念奨学金)	100,000
		雑費	0
		小計	362,795
		次年度繰越金	1,416,936
合計	1,779,731	合計	1,779,731

次年度繰越金内訳

三井住友銀行八王子支店	普通預金	248,510
ゆうちょ銀行	通常貯金	843,956
ゆうちょ銀行	振替口座	241,701
現金		82,769
合計		1,416,936

2025年度 予算報告書

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	1,416,936	総会・懇親会費	75,000
会費収入	200,000	会報発行費	62,000
懇親会費収入	70,000	HP維持費	26,400
寄付金収入(学員会)	50,000	交流費	6,000
受取利息	500	振込手数料	1,000
		通信費	30,000
		寄付	100,000
		雑費	0
		小計	300,400
		次年度繰越金	1,437,036
合計	1,737,436	合計	1,737,436



二〇二七年四月、中央大学 経済学部は変わります

現代の複雑な社会課題に対応できる人材の育成は社会的要請であり、それに応えるため経済学部は現行の4学科(経済学科、経済情報システム学科、国際経済学科、公共・環境経済学科)を、経済学科と社会経済学科の2学科(いずれも仮称)に再編します。

本質を見抜く分析力の経済学科

↓経済政策コース

↓国際経済コース

最適解に挑む実践力の社会経済学科

↓社会経済コース

↓地域・マネジメントコース

新設の2学科では、経済学の体系に基づく2つの系統的カリキュラムにより、高度な専門知識の習得を図ります。



多摩キャンパスでは、八月六日(水)と七日(木)に二〇二五年度オープンキャンパスが対面式で実施され、暑いなか多くの高校生・保護者が来場されました。キャンパスには水分補給やミストシャワーなど、来場者の体調管理を考えた準備が整えられていました。

全学のガイダンスとは別に、経済学部では模擬授業「理性と感情のはざまに」行動科学としての経済学「超」入門(古川雄一教授)」「デジタル技術の時代に、日本のモノづくりはなぜ勝てない?」経済学を使い考えてみよう。(堀内英次准教授)や学生企画が開催され、高校生活で接していなかつた知識や情報を得ることができたようです。

新学科ガイダンスでは、該当する学年である高校一年生を中心には、保護者を含めて高い関心が寄せられました。個別相談コーナーでは「経済学部に進路を決定する際の決め手は何か」「公認会計士を目指しているが、経済学部で合格実績が高いのはなぜか」「数学が苦手だけれど必修の授業についていけるか心

二〇二五年度 オープニングキャンパス報告

多摩キャンパスでは、八月六日(水)と七日(木)に二〇二五年度オープンキャンパスが対面式で実施され、暑いなか多くの高校生・保護者が来場されました。キャンパスには水分補給やミストシャワーなど、来場者の体調管理を考えた準備

が整えられていました。

全学のガイダンスとは別に、経済学部では模擬授業「理性と感情のはざまに」行動科学としての経済学「超」入門(古川雄一教授)」「デジタル技術の時代に、日本のモノづくりはなぜ勝てない?」経済学を使い考えてみよう。(堀内英次准教授)や学生企画が開催され、高校生活で接していなかつた知識や情報を得ることができたようです。

特筆すべきこととして、在学生のボランティア、団体による高校生サポートは、今回見事な活躍をしてくれました。伝統ある中央大学にあって、格調高き経済学部の一員として熱き想いで高校生に接する学生達に、教職員強く感動させられました。経済学部のオープニングキャンパスはそんな全員参加のイベントとなり、無事終了しました。

編集後記

配「経済学部は就職が良いと聞いて」など、ネット時代を反映してか、豊富な情報から具体的なポイントに絞った相談が目立ちました。会場では本学のマスコット「チュー王子(写真)」が来場者を迎え、中大グッズのプレゼントなど、忙しくも楽しい一日を過ごしてもらえたようです。

チトリイ(イ)となり、来年には「イチトリイ」となります。本会報ではチトリイ先生もチュー王子と一緒にご参加いただいております。

(幹事長 濱岡 剛)



引き続き、「経済学部創立百周年記念奨学金」へのご寄付を募っています

詳細は中大WEBサイトにて。経済学部トップから赤色のバナーをクリック。スマホはQRコードから。



2025年8月31日 第90号
発行 白門経友会常任幹事会
編集 白門経友会編集委員会
〒192-0393
東京都八王子市東中野742-1
中央大学経済学部内
URL: www.wg-keiyukai.com
Fax: 042-673-3425